

足立区医師会学術講演会

～未来をまもる降圧目標達成を目指して～

日時：2025年2月7日(金) 19:25～20:50

配信：Microsoft Teamsにて配信

会場：足立区医師会館 3階会議室 足立区中央本町3-4-4

(ハイブリッド開催/現地参加またはWeb参加をお選びいただけます)

開会の辞

賀川幸英 先生

苑田第一病院 院長

19:25-19:30

座長

山下俊樹 先生

六ツ木診療所 院長



上記二次元コードより
事前登録をお願いいたします。

一般演題 19:30-20:05

『構造的心疾患 (SHD) のカテーテル治療

～実地医療から繋げる TAVI(タビ) / Mitra Clip(マイトラクリップ) /
WATCHMAN(ウォッチマン) / 卵円孔閉鎖術～』

演者

天野秀生 先生

綾瀬循環器病院 循環器内科 医長

特別講演 20:05-20:50

『ナトリウム利尿ペプチドを意識した高血圧治療

～冬場の厳格降圧の重要性～』

演者

平光伸也 先生

平光ハートクリニック 院長

講演会の録画/録音はご遠慮願います。
入力いただきました個人情報は、ご視聴いただいた
先生の確認のためのみに使用します。

お問い合わせ先

ノバルティスファーマ 野村

080-3478-3171

atsushi.nomura@novartis.com



共催：足立区医師会学術部/ノバルティスファーマ株式会社/大塚製薬株式会社

日本医師会生涯教育制度 CC : 74 高血圧症 1.0単位



特別講演 抄録

『ナトリウム利尿ペプチドを意識した高血圧治療 ～冬場の厳格降圧の重要性～』

平光ハートクリニック 院長 平光伸也先生

本邦における高血圧患者は4300万人も存在するが、血圧が十分コントロールされているのは1200万人のみと報告されている。その一因として臨床イナナーシャが挙げられる。医師が積極的な降圧を心がけなければ処方の変更されず、血圧も低下しない。厳格な降圧治療の達成には、我々主治医の意識改革が大変重要であると考えます。高血圧治療の真の目的は、血圧を低下させることではなく心血管イベントを抑制して高いQOLを保ちながら患者さんに長生きしていただくことである。そのためには高血圧治療の段階から、心血管イベントを抑制できる降圧薬を積極的に投与する必要がある。

ナトリウム利尿ペプチドであるANP、BNPは利尿効果のみならず、アルドステロンの分泌抑制、腎血流の増加、血管内皮機能に対する効果など様々な効果を有しており、高血圧の発症を予防していると考えられている。

サクビト rilバルサルタン（エンレスト）は優れた降圧効果に加え、ANP、BNPを増加させる作用を有しており、この点が他の降圧薬との大きな違いである。したがって本剤は、心不全患者のみならずStage Bの前心不全(preHF)症例やstage Aの高血圧患者にも有用であると期待している。またエンレストの優れた降圧効果は、血圧の目標達成率の向上にも貢献するのではないかと考えている。今回の講演会では、心不全発症予防の観点からナトリウム利尿ペプチドを意識した高血圧治療について、分かりやすく解説する。

会場：足立区医師会館



共催：足立区医師会学術部/ノバルティスファーマ株式会社/大塚製薬株式会社